

第7回川口中学校区地域づくり推進会議意見まとめ

川口中学校区地域カルテ(案)について

地域カルテ(案)に関する意見等

修正済 × 修正不要 要確認

ページ	項目	修正内容	事務局対応方針
1	概略	「芦沢峠を越えた川口川と北浅川に挟まれた…」 芦 戸に変更。	○(計画と合わせて、芦沢峠を越えた、川口川と北浅川に挟まれた台地としている)
1	概略	子抱き土偶の写真があるが、「宮田遺跡」の場所を示したら良いと思う。「日本初」は今でも日本初なのか?(その後、より古い時代のものが他の地で発見されたりしたことはないのか)、P26の地域資源マップにも位置を記せると良いと思う。なお、場所は資源マップを参照などと書いておく。	(地域資源マップに場所を追加)
1	概略	概略文章の見直し。	○:参加者確認
1	概略	[写真]赤根遺跡の写真を挿入。	○
2	自然環境	[写真]北浅川の写真を挿入。	
2	自然環境	北浅川の自然紹介を入れてほしい。	
2	交通	「比較的待ち時間が少なく移動可能」の文言は、主観であり、不適切な表現に感じる。私は、八王子 檜原町位までは、比較的バスの本数が充実していると感じるが、川口エリア全体では、バスの本数が少なく、料金も高いので「バスは不便」と感じている。このように人それぞれ感じ方の違いが出る情報は的確ではないと思う。	
2	産業	「白亜紀の硬質砂岩帯から砂利・砂を生産し終掘した。」を追加	
2	産業	[写真]圏央道川口区間 川口トンネルの写真を挿入。	
3	四季	[写真]4月にミツバツツジの写真を差し替え。	
3	四季	[写真]7月に夏の里山の写真を挿入。	
3	四季	紅葉とか雪景色があれば良いのではないかな。	
3	四季	[写真]11月に紅葉の写真を挿入。	
3	四季	1月にどんど焼きの文章を挿入。	
3	四季	[写真]1月にどんど焼きの写真を挿入。	
4~6	年間行事	町会名が同じ月に複数出てくるのはおかしい。7月で言えば、例:唐松町会 町民祭・やまゆり館除草というように並列に記載してはどうか。	
4~6	年間行事	月の場所が分かりづらい。7月の枠内にしっかりと7月が書かれるように修正してはどうか。	

地域カルテ(案)に関する意見等

修正済 ×修正不要 要確認

ページ	項目	修正内容	事務局対応方針
4～6	年間行事	今年には実施していない行事があるのではないかと。	○ :参加者確認(コロナのため一時的に実施していない行事で、状況が落ち着けば実施するというものは、記載して良いか)
4	年間行事	年間行事の中に、何故、「入学式」が掲載されているのか不思議に思う。全国的にも、4月に入学式があるのは、日本人なら周知している人が多いと思うので、ここに特化して掲載する必要性を知りたい。何か特別な思いがあるのか。さらに「入学式」を掲載するなら、何故、「卒業式」は掲載しないのかも疑問に思う。	○ (卒業式を追加)
4	年間行事	「5月 川口町東部町会のみんなの川の清掃デー」を削除。	○
4	年間行事	「5月 川口町東部町会のみんなの川の清掃デー」を9月に変更。	
4	年間行事	【写真】農の風景を挿入。	
4	年間行事	【写真】七夕かざりを挿入。	
4	年間行事	【写真】納涼祭を挿入。	
4～5	年間行事	「7月 美山町 福祉施設8か所で夏祭り(盆おどり)と町内3ヶ所で納涼祭(7、8、9月で)開催」を追加。	
5	年間行事	9月 川の清掃は川口地区全町会でやっている。	
5	年間行事	清掃を今までは5月が町、9月が川で実施していた。	
5	年間行事	【写真】運動会を挿入。	
5	年間行事	【写真】やまゆり館まつりを挿入。	
6	年間行事	「12月 美山町会 防犯パトロール」を追加。	
6	年間行事	「1月 美山町会 町内の3ヶ所でどんど焼き」を追加。	
6	年間行事	【写真】どんど焼き2点を挿入。	
6	年間行事	【写真】冬景色を挿入。	
7	町会・自治会	町会・自治会一覧の「ダイヤタウン自治会」は中部町会の下部組織として活動しているため削除。	×(当自治会は、法人化したうえで集会場を有し、市に自治会として届出をしているため、今回は記載している)
7	町会・自治会	【写真】資源回収を挿入。	○
7	町会・自治会	【写真】どんど焼きを挿入。	
8	PTA	上川口小学校「12月ゆずり葉の集い」 来年度以降は活動なしとなったため、削除をお願いしたい。	
8	PTA	【写真】読み聞かせの会の写真を挿入。	

地域カルテ(案)に関する意見等

修正済 ×修正不要 要確認

ページ	項目	修正内容	事務局対応方針
9,10	サークル活動	「川口市民センターの活動情報」と「生涯学習センターのサークル活動」の掲載情報量の違いが有りすぎると思う。「川口市民センターの活動情報」は情報がざっくりすぎ、「生涯学習センターのサークル活動」は、情報が詳細すぎるのでどちらかの形態に統一すべきと思う。また、「生涯学習センターのサークル活動」は団体の諸事情により、詳細が異なると思う。活動を控えていたり、会員募集をしたいと思っているが、団体情報が反映していなくて、機会を失っているなどの不公平感を持つ団体がいるかもしれない。正確な情報提供のために、流動性のある情報に配慮すべきと感じる。	×(市としては、基本的にサークル団体を掲載することで各施設に対し調整を行っています。現状では、各施設ごとに個人情報の取り扱いが異なる為、施設側からサークル団体の掲載は難しいという回答があった際には、川口市民センターのような掲載方法で対応している)
11	放課後子ども教室	「放課後子ども教室」の存在を知らない人も多いと思う。せっかく掲載するのなら、どうしたらその活動に参加できるのか、団体名の連絡先の明記をするなど、具体的な情報を明記した方が、市政充実につながると思う。	×(放課後子ども教室が対象としているのが、主にその学校に在籍している生徒であり、その生徒及び保護者には、お知らせをしている。また、問合せ先は各運営団体となるが、積極的に問合せ先として掲載はしていない)
11	無料塾・居場所	「無料塾」は川口町に存在するのかわからないのか不明。存在しないのであれば、明記の必要性を感じない。	○
11	無料塾・居場所	あると良いと思う。	
12	高齢者サロン	サークル活動、高齢者サロン、シニアクラブ、助け合い団体は市民活動のくくりとして掲載の仕方を統一すべき。	(地域包括ケア情報サイトをもとに整理しており、一律的に同じ情報を掲載することが難しい)
12	高齢者サロン	高齢者サロンという「くくり」が不適切ではないか。	×(市の事業として名称を「高齢者サロン」としており、補助金取得の有無に関わらず、市に届出をしているサロンについては、全て「高齢者サロン」として登録をしている)
12	高齢者サロン	川口福寿草の会も掲載してほしい(地域の高齢者にPR)。	○(高齢者サロンとしての登録ではないため、登録がある助け合い団体に記載している)
12	シニアクラブ	「シニアクラブ」はなにをしているのかわかりづらい。	○(説明を追加)
12	助け合い活動	「助け合い活動」の団体を利用したい場合は、システム(有料、無料、利用方法など)を掲載した方がわかりやすい。	(有償/無償の情報を追記)
14	子育て支援企業	避難行動要支援者の災害時に受け入れる場所として社会福祉法人をお願いすることを検討(福祉政策課)。	×(所管課に確認したところ、現在、避難行動要支援者に関する計画を令和4年(2022年)3月に策定する予定。実際に受け入れに向けた整備は、令和4年度(2022度)中としているため、今回の掲載は難しいとの回答であった。)

地域カルテ(案)に関する意見等

修正済 ×修正不要 要確認

ページ	項目	修正内容	事務局対応方針
15	市民・文化施設	やまゆり館内にある「川口市民センター」と「生涯学習センター」は場所の把握をしていない市民が多いので、川口市民センター＝やまゆり館1階、生涯学習センター＝やまゆり館2階の明記をしてほしい。	
全体	全体	地域カルテは、何の目的で、誰を対象にして、どこに配布して、どのような効果を得たいのか？また、掲載する内容は、その受信者が望む情報なのか、という点が不明確である。千葉県流山市では、税金の無駄遣いを検討した結果、市がよく作成する冊子の廃止をし、その余税を公共施設の設立などに充てたという。そのような事例を見習って、今後は、目的が不明確な冊子作製を廃止することを検討し、税のスリム化を図ってほしい。以前、会議の中で「カルテ」について説明したが、「カルテ」の必要性を理解できなかったため、もう一度説明してほしい。	第8回推進会議にて一部検討します。

地域固有ページに関する意見等

修正済 ×修正不要 要確認

地域固有ページ掲載内容の検討	事務局対応方針
伝統芸能	
【写真】犬目囃子(3点)を挿入。	
【写真】今熊神社獅子舞(3点)を挿入。	
【文章】今熊神社獅子舞の由来を追加。	
自然・名所	
【写真】オオムラサキの写真を挿入。	
【写真】ツバメシジミの写真を挿入。	
【写真】ウラジロの写真を挿入。	
【写真】アホシ、カトシ、クガタの写真を挿入。	
【写真】モリアオガエルの写真を挿入。	
【写真】日枝神社の写真を差し替え。	
【写真】美山小の金次郎の写真を挿入。	
【写真】美山小の鐘の写真を挿入。	
【写真】松木地藏堂境内石仏群の写真を挿入。	
【写真・文章】大光寺の項目を追加。	
【写真】白山神社の写真を挿入。	
【写真】高丸山の写真を挿入。	

地域資源マップに関する意見等

修正済 × 修正不要 要確認

地域資源マップに掲載したい情報	事務局対応方針
高齢者が外出時に休む場所(例えばベンチ)などを示してほしい。	
川口学童保育所を追加。	
上川口学童保育所を追加。	
町会の会館全部を追加。	
美山保育園と笠原保育室を追加。	
消防団詰所全部を追加。	
秋川街道沿いのコンビニを追加。	
宮田遺跡の場所を追加。	
陶鎔小 松枝小にもAEDが設置されている。学区外の施設ではあるが、地図に載せるならAEDも載せた方が良い。	
<p>NTTの公衆電話が災害用時に使えるように設置されています。これらを表示してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美山町西部集会所公衆TEL ・美山町会館公衆TEL ・美山保育園 赤ちゃん AEDあり ・WCがある 美山町萩園きた広場 ・美山町東部集会所公衆TEL 	
市で管理している以外のAED情報追加(八王子北高、民間施設など)	
お寺全部を追加。	
各公園を追加。	
天合峰の山頂に至るルートを追加。 川口小南側の山に計画中のプレイパーク(共励のとは別)などを追加。	
川口町は区画整備されていない町なので、番地だとイメージしにくい。 医療関連施設、介護・福祉関連施設、障害者関連施設を追加してはどうか。	

川口中学校区地域づくり推進計画(案)について

地域づくり推進計画(案)に関する意見等

修正済 × 修正不要 要確認

ページ	項目	修正内容	事務局対応方針
1～8		「カルテ」とは別に「地域づくり推進計画」という資料を作成するのか？目的は何か？その場合、P1～8は内容が重複しているのではないか。	×(カルテは「地域の参考書」、推進計画は「地域の行動計画」として作成しています。個々の作成物を別々で見ても地域の情報が分かるよう、カルテから抜粋した情報を計画に掲載している)
1	1)概略	「戸沢峠を越えると北浅川に挟まれた台地に住宅が集中しています」の下線部分を追加。	
1	1)概略	「芹沢峠、川口川と北浅川に挟まれた」に修正。川口と上壱分方町のあいだの土地を指す。	×(1つ上の指摘を採用している)
1	2)特徴 産業	「美山町には白亜紀の硬質砂岩帯があり、都市基盤整備事業に欠かせない砂利と砂を生産しています」を追加。	
1	2)特徴 産業	【写真】圏央道川口区間 川口トンネルの写真を挿入。	
4～5		カルテに詳細が掲載されているため、計画に改めて掲載する必要はないのではないか。	×(個々の作成物を別々で見ても地域の情報が分かるよう、カルテから抜粋した情報を計画に掲載している)
4	歴史・自然	【写真】歴史・自然の箇所、ミツバツツジの写真を差し替え。	
4	歴史・自然	【写真】祭り・イベントの箇所、やまゆり館まつりの写真を差し替え。	
4	歴史・自然	「圏央道西インター周辺は赤根遺跡があり、鉄製品、鍛錬滓が出土し近郊遺跡に見られない鍛冶工房の集落と考えられている。」を追加。	
4	歴史・自然	川口町(東部)と上壱分方町(反対側)の間を流れている北浅川は非常に自然豊かな清流である。PRして良いのではないか。	
4	祭り・イベント	合同防災訓練は5つの町会だけでなく、他地区も訓練をしているため、修正。	
4	祭り・イベント	中途半端にざっぱくすぎ。細かくするか、もっと大雑把にしてはどうか。	(各町会の個別行事を除き、町会全体で実施されている内容に統一)
4	祭り・イベント	スポーツ大会やその他のイベントも各町会で実施しているため、個別の町会名を出してはどうか。	
4	祭り・イベント	3月に各小・中学校の卒業式を追加。	
4	祭り・イベント	年間行事の箇所の唐松ライブを唐松運動会に修正。	×(各町会の運動会として記載しました)
5	町会・自治会	「防災訓練といった住民の～」を「防災訓練といった活動を通して住民の～」に修正。	

川口中学校区地域づくり推進計画(案)について

地域づくり推進計画(案)に関する意見等

修正済 × 修正不要 要確認

ページ	項目	修正内容	事務局対応方針
5	町会・自治会	【写真】資源回収に差し替え。	
5	放課後ども教室	土日は実施していない。放課後や、三季休み(春・夏・冬休み)、振替休日を反映。	(土日は実施していないことを、「川口小学校、松枝小学校で平日(月～金)、美山小学校で水曜日に開催されています。」として反映している。)
7	魅力・特徴	「(ア)上川町と川口町、犬目町、檜原町は地域の環境が違う。」の環境部分に居住を追加。	
7	魅力・特徴	「(ア)美山町は戸沢峠を越えた地域で、美山町独自の文化がある」を追加。	
7	魅力・特徴	「(イ)川口中学校区にはNPO法人が多い。」にボランティア団体を追加。	
8	課題	「(ア)バスの本数が少ない。」に川口小学校から先ということに記載してはどうか。	(「川口小学校以西のバスの本数が少ない。」として反映している。)
8	課題	「(ア)道幅が狭く、交通量が多く渋滞をする。」を追加。	
8	課題	(ウ)の60才～70才を60才～80才に修正。	

コミュニティカレンダーづくり 優先的アクションプランに関する意見等

<コミュニティカレンダー>

推進会議参加者だけでなく、アクションプランについて共感してくださった人に参加してほしい。また、アクションプランを多くの人に、知ってもらうような働きかけや、機会が必要(例えば、フォーラムとか)。

有償ボランティアや大学生が勉強の目的で参加するなど、どちらもメリットがあるような関わり方が人が集まると思う。推進会議参加者は、すでにボランティア活動に尽力している方ばかりで、この活動のためにさらに時間を確保するのは大変だと感じる。

新しく組織を作るのではなく、現在ある組織をもっと活用する方法が良い。川口やまゆり住民協議会の組織は、地域の活性化などの目的もあり、町会やPTAなどいろいろな団体が参加して活動を行っている。未加入の団体を取り入れ、活動拠点も川口やまゆり館で行えば良いのではないかと。

中心を担う人は、青少対・PTA・町会等の担当者が集まってということになると思うが、地元経営者が絡んでくれるとその場も固定しやすいと思う。

各団体のスケジュールを立てるタイミングが合ってくると、カレンダー作りをした時の内容の濃さが変わってくると思う。「うちはまだ決まってません」ではなく、集まり(カレンダー作りの)があるから予定を決めていくという流れができると思う。パッチングも早めに分かるかと思う。

個人等からの情報集約のためのアドレス?があると細かなものも拾いやすいと思う。

コミュニティカレンダーづくりの中で[ターゲット/対象]はできれば、子ども、高齢者を入れてほしい。一人暮らしで家の中に孤立する方が多くなっている。高齢者に希望を与えるコミュニティカレンダーにしてほしい。

コミュニティカレンダーは「アプリ」作成を検討することを提案する。理由として、高齢者の人口比率が高い川口町の住民は、ほとんどの人がスマホを携帯しているが、その取扱いに苦労している人がいると思う。HPなどは、そのページを開くまでが難しく普及の壁があるが、「アプリ」を作成すれば、最初の「アプリの取得」のフォローの必要性はあるものの、取得後は簡単に閲覧可能なので、「コミュニティカレンダー」を活用する町民が増加すると思う。

コミュニティカレンダーの掲載情報で決まっている年間行事は、ゴミカレンダーとコラボすることを提案する。理由として、ゴミカレンダーは、集積地区別に各家屋に配布されるので、地域の情報が載っていれば便利と感じていた。週に何度もゴミ出し確認でカレンダーをみる機会があるので、町民が活用しやすい(情報を得やすい)と思う。

優先的アクションプランのスケジュールに関する意見等

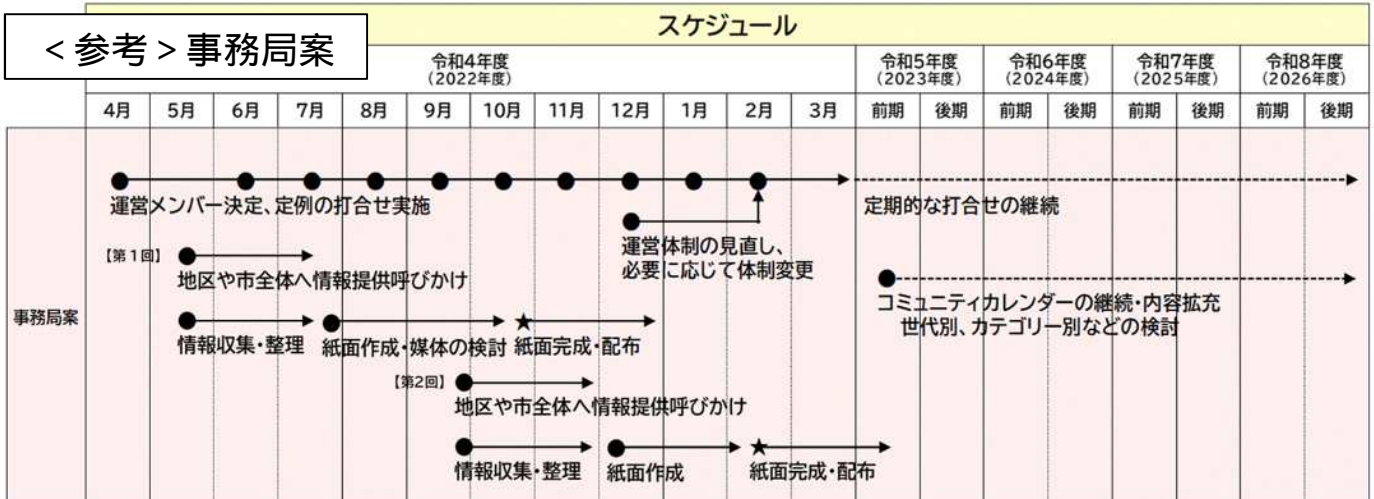
スケジュールは事務局で取りまとめた通りで一任する。

事務局案で良いと思う。

事務局案に則り、準備する。以下の項目についても検討してほしい。

- 「コミュニティカレンダー」アプリを作成する。自力でアプリを作成できるツール「ヤプリ」を試してみる。
- ゴミカレンダーとコラボする。清掃局など関連部署を当たってみる。情報収集。
- 「マルシェ」も含めた活動拠点として、事務局を設置する。川口事務所などの公の場所・もしくは空き家など。

定例の打合せは2ヶ月に1回程度で偶数月の発行とかにすると「毎月」という負担感がなくなるかと思う。ただし、その分の情報集めは2ヶ月分にはなるが、紙面も2ヶ月分になればボリュームも出るし予定も立てやすいと思う。



マルシェの開催

優先的アクションプランに関する意見等

<マルシェの開催>

「コミュニティカレンダー」も「マルシェ」も、情報収集や運営にかなりの時間と労力を必要と感じるので、総合的な活動拠点となる「事務局」の設置が必須と思う。「事務局」の業務内容として考えられる、使用許可や必要な手続きに関する諸業務や各関係部署への協力のお願い・広報などでの情報の拡散という公での業務は、市役所の職員が担当し、(行政の協働)実際の運営は、有償ボランティアや人材を公募して、運営に携わる。(無償での協力には限界がある。)行政として協力はできるが、協働はできない。有償ボランティアや公募人材を市の予算で捻出できないのであれば、アクションプランの担い手を探すのは難しい。

イメージ

行政の役割
関係部署との連携業務(許可申請・情報拡散するツールの確保、アプリの作成など)

協力

担い手を支える財源の負担。

事務局の役割
・「コミュニティカレンダー」掲載のための情報収集や掲載記事の作成業務
・「マルシェ」開催に関すること全般業務(出展者呼びかけ・開催場所の環境整備・チラシの作成など)

「立ち上げ」には、行政との協働が必須。軌道に乗ったら、「事務局」が自立できる方向にもっていく。

今は住民協議会が中心になって開催する方向で進んでいますが、目標としては、年に数回開催することなので、いずれ、マルシェ運営は、独立した団体として運営されるべきだと考える。多世代交流、地域協働体のような形にはなれるよう取り組んでいきたい。

「どこで/いつ/頻度」のどこで候補の川口事務所を川口やまゆり館に変更してはどうか。

「開始時期/スケジュール」の箇所

- ・1月と3月を削除してほしい。
- ・4月に住民協議会において事業概要の承認を得る。を追加してほしい。
- ・5月に実行委員会を立ち上げる。を追加してほしい。

「必要な物資・資材など」の資金について、ファンド部分を住民協議会の予算に変更してほしい。

ターゲットの「生活に困っている人」は削除してほしい。

自分自身含め、推進会議でのマルシェメンバーと、住民協の皆様。また、プロジェクトメンバーを公募(地域の方から)して、企画メンバーまたは当日お助けメンバーとして加わってほしい。各団体や個人の方には、マルシェの周知の面でお手伝いいただきたい。

町づくりとして考えられる方法として、1.公共交通機関の誘致、2.人が集まる大型店舗の誘致または設置、3.保育園・学童保育所の増加や利用しやすいシステムづくり(働きやすい町づくり)など、行政の必要性は大と感じる。「マルシェ」はその第1歩として進めていくプロジェクトにしたい。現段階で、市役所の中に「大規模商業施設の誘致」などの構想がないと思うので、まず「小さな店舗づくり」から始めていく展開はどうか。

川口町については「農業の町・野菜の町」をキーワードにして、「マルシェ」を売りにする。川口町には、公園がたくさんあるので、開催場所に数か所の公園を利用し、開催曜日・時間を設定し、継続的に「マルシェ」を展開、店舗化する。(例)週2～3のペースで「マルシェ」を開催。

公園の独占化を避けるため、開催時間は2～4時間程度の短時間とする。

開催場所である公園の使用許可などの必要な諸業務は、市役所の職員が行う(行政との協働)。

「マルシェ」運営は、事務局を設置して、有償ボランティアによる市民が行う。

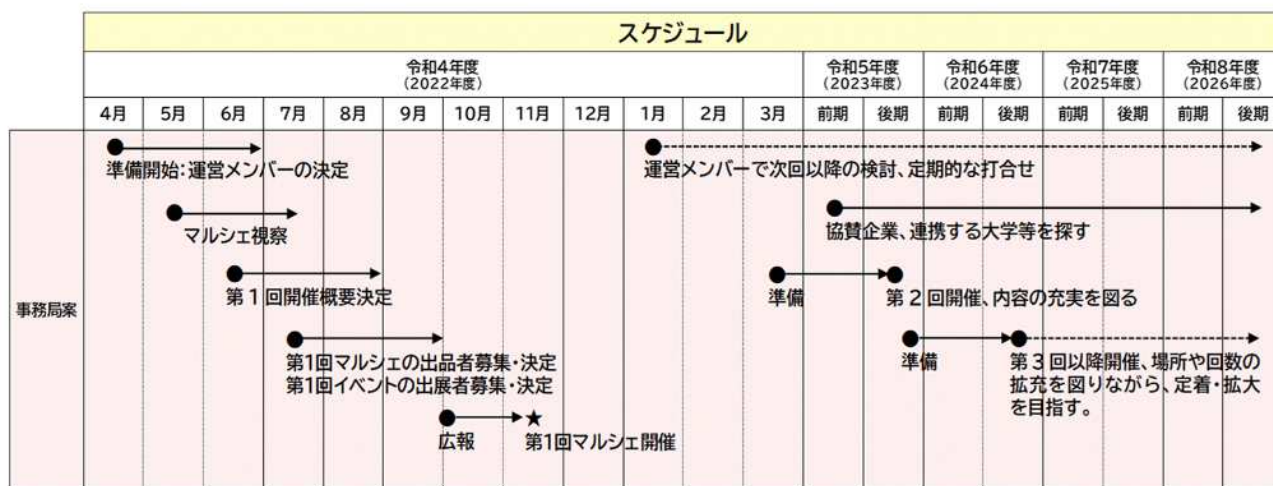
「マルシェ」が定着したら、固定店舗(建物がある店舗)を設置し、そこを拠点に事業展開していく。

マルシェの開催

優先的アクションプランのスケジュールに関する意見等

<p>令和4年度(2022年度)は、住民協議会のイベントとしてスタートしていきたい。 住民協議会主催で開催している「やまゆり館まつり」のイベント内容を一新する案として、まつり内のイベントの一つを「マルシェ」として開催する案が検討されており、住民協議会の中の活動部門として「マルシェ」部門を設置し、そのメンバーと協力して開催する。スケジュールは、住民協議会の他、関係団体と連携して決定する。「やまゆり館まつり」での感触が良ければ、3月開催の「こども祭り」でも開催することを視野に入れる。 同時進行で、令和4年に「コミュニティカレンダー」も含めた活動拠点として「事務局」を設置する。川口事務所などの公の場所、もしくは空き家。 令和5年に「公園での開催」が可能な方向で、事務局案に則り準備する</p>
<p>4月に住民協議会において事業概要の承認を得る。 5月に実行委員会を立ち上げる。を追加してほしい。</p>
<p>事務局案で良いと思う。</p>

< 参考 > 事務局案



アクションプラン全般に関する意見等

アクションプラン全般
<p>川口地域はとても広いので、紹介に「こんな団体があるんだ」だけで終わらせないため、誰でも参加、体験ができる様な情報を出してほしい。(美山・上川から乳児を連れて子育てイベントに行くのに大変と感じた経験があり、川口・松枝の子ども達が、美山・上川の自然を体験しに来た事があるのかなと思う。地域個々での良さを持つ団体がたくさんあると思うので、川口地域全域で行き来できれば良いと思う。)</p>
<p>行政と地域が話し合える場所の確保。</p>
<p>川口地区を特区とし、職員と住民が地域自治に移行できる準備期間を設ける。</p>
<p>地域自治を達成する組織を立ち上げる。</p>

地域づくり推進事業に関わる意見聴取について

地域づくり推進会議の運営方法等に対するご意見

地域づくり推進会議について

○地域の実情に応じた会議運営をどのようにしていったら良いですか。(例:役員会)

今後は中心となる推進会議参加者に川口で生れ育った知識ある一般の方、また居住年数の浅い方を招集した形式で役員会を設置したら良いと思う。役員会の設置は良い。

地域自治を進めるための組織を作る。構成員は市と地域住民の代表者。それぞれの活動部隊の委員会を開催。

若い人に役員になってもらう(必須)。
各地区に「地域づくり役員会」を設ける。

行政が事務局に相当する協議会を設置し、有償で活動するリーダーを置く。

既存の組織を活用して組織の役員会で進めていく。
組織を決めることに加え、予算、計画も必要。

全体会だけではなく、担当グループのような小会議が必要。

役員会の設置。

役員会の設置は良いと思う。

○アクションプランの円滑な検討をどのようにしていったら良いですか。(例:部会)

推進会議に選任された(中心の方)で実行委員を作り、必要に応じて各担当部門の方を招集する部会づくりが望ましい。

部会の設置に賛成。

有償で活動する報酬がある程度あればアクションプランの検討や実行していくための活動は専任として任せられるのではないかと。

組織が決まれば部会などが決まり、部会で検討や実施を行うことができる。活動費はどこから捻出すべきか。

実行委員の設置。

部会の設置は良いと思う。

○地域の合意形成をどのようにしていったら良いですか。(例:総会)

実行委員会を中心に(実行委員)各担当部門への指示に一般の方々への協力を得て総会などを開催。

代議員みたいな組織とする。

「地域づくり役員会」を頻繁に行い、年1回の総会を開催。

専任で活動するリーダーたちが存在すれば、点在する各団体を一つにまとめていく仕事を担える。町内にある各団体を一つにまとめるための定例会議などを開催。

活動計画案、予算案(活動費など)、実施するためには関係者に確認する必要があり、会議を行う必要がある。合わせて結果報告も必要。

実行委員に一任するのが良い。動く人がまずはやりたいようにやってみての改善・継続だと思う。あまり意見が混み合うのもどうかと思うため。

総会の会員はどこからどこまでなのか(どの団体が含まれるのか)を考える必要はありますが、総会自体は良いと思う。

地域づくり推進事業に関わる意見聴取について

地域づくり推進会議の運営方法等に対するご意見

地域づくり推進会議について

○地域団体の情報共有・連携をどのようにしていったら良いですか。

まずはどんな団体であるかを認識して、テーマ毎に情報共有、連携を深めること。

会議運営組織との定例会議により共有連携を図る。

コミュニティカレンダーに情報を載せる。

専任で活動する「事務局」に情報を集め、「八王子市の地域情報アプリ」を作成する。その1ページとして「川口町」を作成し、川口町の情報「コミュニティカレンダーの掲載」や「川口町での出来事」などを掲載する。また、YouTubeなどの動画配信も可能なら、やってみる。町会に入っていない、入っていても回覧版を見る家庭も減っている昨今なので、戸別に配布している広報を利用する。A4版1枚で良いので、「川口町」通信などを作成し、広報に挟んで配布するなど、SNSが苦手な人でも情報を得られるように工夫する。

各団体から代表者を選出して各団体との連携、情報交換を行う。

各団体から連絡係を選出して頂き、メーリングリストを作り、一斉送信するのはどうか。

コミュニティカレンダーづくりで進んでいくかと思う。作成実行委員設置のもと。

定期的な連絡会議とそれを補うコミュニティカレンダーのアップデート。コロナ禍を踏まえ、オンラインでもつながれるしくみづくりも必要かと思う。

○地域全体に対し地域づくりの取組をどのように周知していったら良いですか。

広報誌の様な形でメッセージを送り、地域の方々に認識して頂く。住民の皆さんが良く知る事と興味を持つ事が大切であると思う。住民の皆さんに良く知って頂く事が大切。

広報(とりあえず)。

コミュニティカレンダーで発信。
町会の掲示板。

各所で「マルシェ」などを定期的開催し、顔の見える活動をすることで、人と人とのつながりを持つ。川口町は住民協議会やPTAなどの主体となる組織活動が盛んと聞いているので、「事務局」主催のマルシェに各団体が宣伝したいことを盛り込む「小イベント」の開催をしていくなどの工夫をする。

地域の取組をチラシやポスター等で掲示していく。

若い世代にマルシェがアピールの場になると思う。高齢者はやはり回覧版などが必要か。

子育て世代に周知し、意見を聞く必要があるのでは(現PTAの方々のお子さんは後5年もすれば高校～社会人と八王子を巣立っていく世代)。この取組を知って頂き、5年10年後には、小学校・中学校で学ぶお子さんを育てている方が何を必要と感じているかを把握する。

町会、学校、各団体からのお知らせ、集会、などのアナログな方法(市広報含む)と、SNSやYouTubeなど、アナログ手法では届かない人達への伝達も考えないといけないと思う。

地域づくり推進事業に関わる意見聴取について

地域づくり推進会議の運営方法等に対するご意見

地域と行政のつなぎ役について

○地域と行政との連携をより円滑に行うためには、どのようなことが必要ですか。(例:つなぎ役)

行政と地域の関係は非常に大切であると思う。一般人が入りやすい雰囲気の中での連携を図って頂きたい。つなぎ役は中心となる役員が良い。

協働に尽きる(特区を活用しなければ川口地区の地域づくりは進まない)。

つなぎ役が役員会議や総会に出席していただく。

会議前にアイスブレイクとか用いて場をほぐした方が良い。ハートとハートの付き合いがないとつなぎ役以前の問題な気がする。仲良くなることから始める。

推進会議の所属する団体の活動に市の職員が顔を出す。
一緒に川口を散策する、会議以外でノンバーバルな付き合いや会話がもっとあった方が盛り上がって楽しくなるかと思う。一緒に楽しい推進会議を創出していきたい。

「事務局」の中に、市の職員と専任活動するリーダーを配置し、活動を共に行き、協働を図る。

組織作りだけでなく、常に会議当人として参加し、パイプ役として活動する。

一歩踏み込んだ担当職員がいると安心する。地域担当を固定する。せめて2年とかで(単年ではなく)。ゆくゆく計画書に基づいた予算を短期間で出す(許可が降りない決定も含め)。

川口事務所に専任スタッフを置く。市職員がなるのか、地域住民を有償で任命するのか、どちらかかと思う。今回配布のアンケート結果のP10の最後の意見に「窓口でも、福祉、保育、教育、医療なんでも相談できて次につながる場所であると良い」とあったが、カルテの情報も含め、地域のことなら何でも担当部署や地域の人材や団体を紹介してくれ、推進会議の(今後の)役員会メンバーでもある役職であると良いと思う。

○市職員に期待することはありますか。

地域づくり推進事業に関しては、先ずはますます多くなる高齢者向けの事業づくりを希望します。当然子供向けも大切だと思いますが、誰でも住みやすい地域づくりの指針になるよう、導いてほしい。

地域と一緒に働く。

いつでも相談に乗っていただけるようお願いしたい。

「市民の皆様の生活がより充実するために、八王子市は、皆様の未来を応援する存在でいたい。」とか「八王子市の未来を良くする努力を惜しみません。」などの具体性のない言葉は要りません。「働く世代が働きやすくなるように、保育園を 力所増やします。」とか「交通緩和のために、モノレールの導入をします」など目的を持ったビジョンを掲げてほしい。

地域活動を円滑に進める拠点事務局を設置してほしい。

組織を作り、いろいろ活動や内容が実施できるように、金銭面の援助も必要と思う。絵に描いた餅にならないようにしてほしい。

川口地域といっても広いです。各地域の学校、町会、現況を知って頂きたい。

地域には地域の思い、行政には行政の...という間に立たされ、大変だと思いますが、やはり間に立たされる人がいないと場は混乱するだけなので、そういった役割は必要ではないか。

地域で奮闘してきたベテランの皆さん方がお元気なうちに、今度こそ「地域自治」を実現させるために力を尽くしてほしいと思う。そうでないと、もう誰も、市に何も期待しないさびしい自治体になってしまうと思う。市から「見捨てられた」「裏切られた」と思ってしまう。そうならないように、今が最後のチャンスだと思う。

地域づくり推進事業に関わる意見聴取について

地域づくり推進会議の運営方法等に対するご意見

【地域づくり全般について】

川口地区は川口中学校区と檜原中学校区となり、それぞれの学区は町で分けすることが大事である。

行政・住民の代表者が合同で組織し、そこから各活動部隊と連携して行くことが良い。

地域づくり推進体制の基本として、行政がトップである組織作りにしてほしい。

川口地域のより良い将来について「話す場」として参加しましたが、現状、実践していく立場になっていって困惑しています。地域づくりそのものについて勉強しないとお答えしようがないです。「地域の合意形成」とかいきなり聞かれても困ります。

地域自治の推進を図るとなっているが、どのように行っていくのか？町会の入会率が50%を割っているのが現状で、高齢化が進み役員のなり手がいないのが現状。ボランティアでの活動にも限界があり、今と同じような方法では無理があると思える。地域自治を町会が実施した場合、町会費を払っている人といない人の不公平が発生する。地域自治費を全員から徴収し、各町会【自治会】に配布して活動を行えば不公平はなくなり、全員が町会に加入したことになるので良いと考える。